

平成28年度
優秀賞

NTTコミュニケーションズ株式会社

会社概要

NTTコミュニケーションズ株式会社（NTT Com）は東京に本社を置き、全国及び世界各地で長距離電気通信事業等を展開している。鹿児島県においては、NTT Comの鹿児島パースビルのほか2事業所に通信設備を設置している。

CSR基本方針のひとつに地球環境保護を掲げており、事業活動の全過程における積極的な取組と情報通信サービスの提供を通じた、環境にやさしい社会の実現に貢献している。

削減実績

CO2 排出量削減率 12.1%達成（平成 22 年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成 22 年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成 23 年度～平成 27 年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全社的な環境保護の取組

本社に地球環境保護推進部会の下部組織として温室効果ガス削減WGを設置し、設備面の省エネタイプへの更新や運用改善、オフィスでの節電活動など全社をあげて積極的に取り組んでいる。

鹿児島パースビルにおいても、事務室や通信機器室の照明・空調の適正な運用の啓発・実施を行っている。

通信設備室の省エネ

通信機器室の空調効率を高めるため、機器の更新に併せて設置場所の集約を行っている。

また、空調効率を更に高めるため床に移動可能な送風口を設置し、温度の上がる機器周辺のエリアに冷風が流れるようきめ細かい気流工夫に取り組んでいる。

通信機器の更新に当たっては環境性能の高いものを率先して選択し、性能の向上を踏まえ、機器に支障をきたさない範囲での冷房温度の見直しを行うなど、エネルギー使用量の削減を図っている。

照明の省エネ

計画期間（平成 23 年度～27 年度）中に事務室の 9 割以上を LED 照明に更新し、年間で約 7t の二酸化炭素の削減に貢献している。

その他、照明設備への反射板の取り付け、事務室・廊下の照明の間引き実施により消費電力量を削減している。

今後は、更に設備更新及び配置計画の見直しを行うとともに、効率的な空調運用を徹底・継続していく予定である。



照明の LED 化（事務室）



高効率空調機の導入
(FMACS : NTT ファシリテイズ 社の商標登録)



可動式の床の設置
(通信設備室の空調用)